

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 3 月 10 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101829		
法人名	社会福祉法人 あと会		
事業所名	グループホーム くにくさの家		
所在地	広島市安芸区阿戸町2941-1 (電話) 082-820-8088		
自己評価作成日	令和 5 年 2 月 10 日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	運営推進会議による評価
所在地	
訪問調査日	令和5年2月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

山々に囲まれた自然環境の中にあり、木の温もり・やすらぎのある家庭的な雰囲気のもと、個々の生活空間を大切に、穏やかに・心ゆたかに暮らすことができます。一人ひとりのペースを尊重した支援を行い、それぞれの習慣にあった生活を送られ喜びに繋がっています。その人らしい暮らしを最後まで送れるよう看取りケアにも対応しており、重度化や看取り期に際しては看取り介護指針を定め、ご家族・ご本人の意向を伺いご希望に添った看取りケアが行えるよう訪問看護・かかりつけ医との連携、協力体制を取っています。また大雨等の災害発生が予測される際には速やかに近隣の同法人施設の2階に避難を行い災害対策にも備えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍のため随所に制約がありますが、安心して過ごせる環境や職員との信頼関係もしっかりできていると思われます。職員と関わりを多く持たれ、より良い日々を送っておられ、近隣にかかりつけ医もあり健康面や医療面は安心でき、安全面・環境面に関しても手すりやバリアフリー化がいたるところで見られています。また災害対策では河川の増水が予測される際には農業用水路の水門の解放の管理を地元住民がされている等協力体制をとられています。災害発生が予測される際には法人の施設に直ちに避難して安全の確保に努めている等災害対策にも備えておられます。



自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社会福祉法人あと会の理念3Yのころ(やすらぎ、よろこび、ゆたかさ)を、ミーティング等で共有し、職員間の意識統一を図りながらケアを行っています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で難しい現状ですが地域の清掃活動に参加してコミュニケーションをとっています。	コロナ禍の中で以前のような交流はできていませんが、有事の際等には地域でもすぐ対応できるようにしています。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の為関係者が集まった運営推進会議はできていませんが文章や聞き取りにて情報提供を行いご意見を伺いミーティング等で情報共有を行っています。	現在は集まったの会議は開かれておりませんが、お互いに情報の交換等である程度共有はできていると思われます。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センターとは2ヶ月に1度連絡し地域の様子等を確認し、書類でグループホーム内の様子等を報告しています。市には運営推進会議の報告を2か月に1度行っています。また事故や感染症の報告・相談を随時行い協力関係を築くようにしております。	コロナ禍でもあり高齢者施設はクラスターが起こりやすいので、日頃から市と連携することが大切だと思われます。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会やミーティングで広島市の動画での研修を参考にし職員全員が勉強する機会を設けています。玄関の施錠に関しては防犯上の理由の為現在は施錠を行っています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前の様子ですが、日常的に不定期に訪問をしても身体拘束等は少しもみられずあたたかい雰囲気でした。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない	勉強会やミーティングで広島市の動画での研修を参考にし職員全員が勉強する機会を設けています。話し合いの場を持ち、職員		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待等も同様に以前からみられず、あたたかい雰囲気でした。虐待について学ぶ機会を持たれておられる成果が出ていると思われます。

		過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	D. ほとんどできていない	への意識付けを行い、意識の向上、ケアの質の向上に努めています。			
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内での勉強会を通し権利擁護に関する制度、成年後見制度について学んでいます。個別に提案を聞く機会を持ち必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしています。また話し合いの場を持ち、職員の理解を深めています。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時にはご本人、ご家族と十分に話し合う時間を設け説明を行い質問を伺い納得のうえで契約をしています。また、制度の改正時などは文書を送付し更に口頭で説明を行い、ご理解納得をしていただけるよう努めています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内に苦情・要望検討委員会を設置しており、ご家族に満足度アンケートを実施し、結果を運営に活かしています。また、事業所の入り口に意見箱を設置しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族の意見・要望を受け付ける機会を設けておられます。法人の苦情・要望は第三者委員に対してもありません。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングや定期的な個人面談で意見や提案を聞く機会を持ち、事業所内だけではなく、必要時には法人に伝える等しています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課制度を取り入れ職員一人ひとりが目標を定め、やりがいを感じて働けるように努めています。また、半期に1度目標面談を行い、職員個々の勤務状況の把握を行い、意見を聞き働きやすい職場環境に取り組んでいます。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課制度というものを採り入れられ、定期的な面談も行っており意見や実態が反映されやすい環境だと思われます。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、現在は法人外の研修に参加できていません。コロナ禍以前は法人内外の研修制度や法人外の研修機会を個々に設けていました。現在は法人内の研修内容を共有するようにしています。		A. 充分にできている B. できている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為外部の研修はなかなかできにくい状況ですが法人内での研修で教育されておられ、今後は外部の研修もできるようになれば良いと思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内での職員研修や同業者が参加する研修会に参加し情報交換をしていましたが、コロナ禍で現在は研修に参加できていません。法人内の他事業所との情報交換を行い、サービスの向上に努めています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯干し・洗濯たたみ・テーブル拭き・下膳の手伝いなど個々で出来る家事活動やレクリエーション活動など、その人その人に合った役割を職員と一緒にしていただいています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医や知人との関係が継続できるよう努めています。電話や手紙で交流を持たれている方もいらっしゃいます。また、電話に関しては守秘義務上の観点からご家族に確認を行っています。	馴染みの人や場との関係継続の支援はしっかりとされていると思います。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の意向に添うようコミュニケーションを図りケアに繋がっています。また、ご本人が希望や意向を職員に伝えることができないご利用者に関しては、ご家族の意向を伺うなどしてケアに活かしています。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	モニタリング時・介護計画作成時に関係職員やご家族、聞き取りを行うことができるご利用者にはご本人と話し合いを行い、課題、意向を検討しています。また、ご利用者の状態に合わせ随時カンファレンスを実施し、主治医の意見も参考にし現状に合わせたプランの見直しを行っています。	コロナ禍の為確認はできていませんが、以前の会議で介護計画はしっかりとされていました。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係職員で話し合いがなされているので、このまま継続していただければと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の様子、夜間の様子を個別の記録に記入し、その情報を共有しています。気づきや状態変化などを連絡ノートや申し送りを通じて職員間で共有し日々のケアや介護計画の作成、見直しに活かしています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の記録は整備されておられました。職員間で共有されて実践にも反映されていると思われます。また、ご家族から様子や気づきを丁寧に記録し伝えて下さるので離れていても様子がよくわかり安心できますとの声を聞きます。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の他事業所や協力医院と連携を図り、可能な限りニーズに合わせた対応ができるよう努めています。ご利用者の高齢化・重度化に対応できるよう職員の技術や知識の向上にも努めています。	最近の傾向として入所時から重度化の傾向があると思われます。看取りも行っておられニーズに対応されておられます。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為地域との交流や地域資源の情報把握ができにくくなっています。地域との繋がりは大切にしていますが、現在は外出や交流がほとんど行えていません。	コロナ禍の為以前のように地域に出向いて散歩もできず気の毒に思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の要望を伺いかかりつけ医を受診されています。ご利用者の加齢や重度化によって今までのかかりつけ医の受診が困難になられた際にはかかりつけ医の変更等の相談をご家族・医療機関と行っています。また、法人内の医師の定期回診、訪問看護に			

				よる定期健康チェックを行い協力関係を築いています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院に際してはかかりつけ医からの紹介によって細かな情報提供・情報共有を行っています。また入院期間中・退院前には早期退院ができるよう病院の地域連携室等と細目に連絡を取り合っておりその都度ご家族にも報告を行っています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	以前家族が入院した際、入院中の様子を定期的に病院に確認され報告していただいていた。安心して退院することができたので病院との協働関係はできていると思われる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	重度化や終末期に関しては看取り介護指針を定め、事業所でできることを契約時に説明を行いご家族・ご本人の意向を伺っています。またご本人の状態の変化によってその都度ご家族と話し合いを行っています。終末期にはご本人、ご家族の希望に添った看取りケアが行えるよう、訪問看護、かかりつけ医との連携を取りご家族との話し合いの場を設けています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	看取りの介護指針があり、重度化や看取りの事例にも実際に対応されている。長く住まわれている方が多く、本人・家族とも安心して暮らせていると思われます。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	事業所内で勉強会を行い、急変時に対応できる実践力を身につけるよう努めています。また、緊急時連絡マニュアルを備え、全職員が把握しています。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	火災は年に2回消防職員の指導の下訓練を行っています。水害は大雨・台風の際は近隣の法人施設の2階に避難を行っています。また運営推進会議を通じご利用者の状況をご理解いただき、火災時等のご協力をお願いしています。	コロナ禍以前は運営推進会議の際に消防訓練を拝見していた。その際職員の方はよく動かれ消防とも連携されていた。また大雨や台風時河川の増水が予測される際には農業用水路の水門の解放の管理を地元住民がされている等協力体制をとられている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	災害時には地域でも協力できるように体制を取っています。家族の中には地元の消防団員もおりいつでも協力できる体制になっています。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者個々の生活歴・病歴を把握し人格を尊重し、個々に合った声かけ、対応を心がけプライバシーを傷付けないようケアにあたっている。また、勉強会やミーティングで話し合い職員の意識統一を図っています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍以前でもプライバシーはしっかり確保しておられました。またその人らしさを大切にケアにあたられていました。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者個々の生活歴や習慣、性格を把握し、個々のペースを大切に支援しています。話を伺うことを大切に、その時の体調や状態、ニーズに合わせた対応を行うよう心がけています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事のメニューをご利用者と話し、ほしいものがあればその都度伺い買い物で買うようにしている。コロナ禍においてはあまり密にならないよう少人数で準備や片付けを職員と一緒にしています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事もあたたかい雰囲気の中で支援されておられました。調理段階から匂いを楽しみ、目で彩りを楽しむことも大切できちんと支援されていると思われます。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態、好みに合わせて食事形態や量、飲み物など工夫しています。日中一度にたくさん飲まれない方は夜間のトイレ後に少しずつ飲んでいただいたりされています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食後居室に戻られる前に洗面台にて、個々の能力、状態に合わせた口腔ケアを行っています。ご自分でできる方も仕上げ磨き等をさせていただき口腔内の確認をさせていただいています。また、必要に応じて歯科往診で口腔ケアをされておられます。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食後の口腔ケアのチェック用紙があり口腔ケアされた際にはチェックを記入されている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない	個々の排泄パターンを把握し可能な限りトイレ誘導を行っています。また便通に良い食べ物・飲み物を日頃から摂取していただいた		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	排泄やトイレ誘導のチェック用紙もありトイレ誘導時にはチェックをされている。一日に何度もトイレに行か

		予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	D. ほとんどできていない	り、かかりつけ医に相談し内服薬で便秘の予防に努めています。			れている方もおられ個々に応じた対応をされている。 トイレ誘導を心がけ排泄の自立支援ができていると思います。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴する日や時間を個々と話しある程度の目安を決めています。あらかじめ曜日や時間を決めた方が良いと言われた方は曜日と時間を決めご自分で着替えの準備をされたりします。その他の方はその都度相談しています。出来るだけ状態や希望、気分に合わせて対応しゆっくり入浴出来るよう支援しています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活習慣や年齢・体力等心身の状態やその日の調子を観察し適切なタイミングで休息の声かけを行い休んでいただいています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の服薬情報をファイルにまとめいつでも確認できるようにしています。月に1度かかりつけ医に薬を処方していただく際には問診を行い毎月の状態を確認し薬を処方していただいています。その際職員で薬の確認や変更点についてケース記録や連絡ノート、申し送りで情報共有しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前もお見受けしましたが、きちんと整理されておられました。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の能力やニーズ、状態に合わせて個別で役割や楽しみをもっていただき、生活の中で気分転換出来るよう支援しています。	食えることが好きな方、お話をすることが好きな方、家事が得意だった方等それぞれの現在の状態に合わせて支援されておられます。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外出や交流は基本的には中止しています。受診時などで外出された際にはドライブを兼ねて外の空気や景色を楽しんでいただいています。	コロナ禍以前はよく近隣を職員の方と散歩をされたり、買い物をされたり、祭りや学校行事の見学など様々な外出をされていました。現在はコロナ禍の為外出自粛をされておられます。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員はご利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、ご本人の希望に応じてご家族と相談の上所持していただいています。現在はコロナ禍のためお金を使えるような場面がほとんどありません。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人の希望があればいつでもご家族や知人へ電話がかけられるようにしています。またニーズがあれば手紙のやり取りにおいても必要な援助を行っています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共有スペースはゆとりのある空間で安全面にも配慮し必要な個所に手すりを設置し床は段差のないバリアフリーとなっております。リビングにはソファやテーブルを設置してご利用者同士がくつろぎやすい空間を作っています。また、季節を感じられる作品を掲示するなど工夫しています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	外部の私達からみても居心地のよい共有空間だと思います。くつろぎやすい空間づくり、四季折々の景色を楽しめる環境づくりができていると思います。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日の暮らしの中でご利用者との会話を大切にしています。ご自分の思いを伝えられる方は思いを聞き、思いを伝えられない方は表情や声掛けの反応等から思いをくみ取り意向に沿った支援を行っています。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前面接の情報、入居時のサマリーや生活歴などの情報をもとに、それぞれに必要なケア、支援を受けています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のバイタル測定や定期的にかかりつけ医の受診・往診を受け、体調不良時には訪問看護や医師に報告相談し、必要なケアや支援を受けています。また安全面・環境面についても個々の状態の変化に応じて必要なものは設置や購入し支援を行っています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣のかかりつけ医があり健康面や医療面は安心できている。安全面・環境面に関しても手すりやバリアフリー化がいたるところでみられています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に希望を伺い、生活歴などの情報を参考にして、ご自分のペースで楽しみをもって過ごせるよう支援を行っています。一人ひとりのペースを尊重した支援を行い、それぞれの習慣にあった生活を送っています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前にご自宅で使用されていた化粧台・イス・人形・楽器・ご家族の写真、作品等を居室に飾っています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前、各々自室に大切なものを置かれておられ、それぞれ個性ある居室となっておりました。馴染みの物に囲まれ、安心して過ごせる空間になっていると思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在 コロナ禍のため受診以外の外出がほとんど出来ていません。ウッドデッキや庭で外の空気や季節を感じて頂いています。	コロナ禍以前はよく近隣を職員の方と散歩をされたり、買い物をされたり、祭りや学校行事の見学など様々な外出をされていました。現在はコロナ禍の為外出自粛をされておられます。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる方は洗濯干し・洗濯物たたみ・テーブル拭きなどの役割を持ち、また季節の飾り付け等をされるなど一人ひとりにあった役割・楽しみを持っていただいています。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はご利用者一人ひとりとの 毎日の会話を大切にしています。 また同席の方との会話を楽しま れているご利用者もおられます。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前ですが共有の空間で ご利用者の方々は会話を楽しんで おられました。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナ禍のため主に職員 とのの関りが中心になっており、 近隣や地域の人々との関わりが 少なくなっています。	コロナ禍の為現在は地域との関わ り、交流は少なくなっています。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で地域の人々との交流 や外出ができていませんが、そ の分職員と関わる時間は多くあり ますので、安心した生活を送るこ とができていると思われます。	コロナ禍の為地域との関わりの比 重は減っておりますが、職員との関 わりが増え安心の日々を過ごされ ていると思われます。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安して過ごせる環境、職員さんとの 信頼関係もしっかりできていると思 います。職員の方と関わりを多く持 たれ、より良い日々を送っておられ ると思います。コロナが収束し、地域 の人々と関わりができますよう祈念 しております

(参考様式4)

事業所名 グループホームくにくさの家

目標達成計画

作成日: 令和 5年 3月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	36	コロナ禍の為日常的な外出支援ができていない。	一人ひとりの希望にそった外出ができるようになる。	コロナの状況に合わせて近隣の散歩、買い物、ドライブお花見などの計画を立て外出支援を行う。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。